

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		児童手当支給事業費〔児童手当支給事業〕						
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 1	児童福祉総務費	事業番号 3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)							
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	子育て支援		課	手当・助成		係	課長名 新海 隆弘	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書(ページ)	59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 中学校修了前までの児童を養育する保護者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 手当の対象となっている子どもの数 (15歳までの児童(4/1時点で0歳~15歳未満)の人口)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 児童手当の支給により、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 年間手当支給総額				
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 ②審査 ③決定・通知書送付 手当支給決定後 ①支払処理 ②更新処理 ③届出事項変更処理・資格消滅処理 等			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 受給者数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	10,925	10,749	10,520		
	成果指標	②の数値	円	1,292,320,000	1,255,685,000	1,218,300,000		
	目 標	②の目標値	円	不明	不明	不明		
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 法令に基づく対象者に対する支給								
	活動指標	③の数値	人	5,962	5,805	5,682		
3 経費	事業費(実績)		円	1,293,989,015	1,257,250,898	1,220,832,964	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	199,106,185	194,166,902	189,810,800		
		特定財源	円	1,094,882,830	1,063,083,996	1,031,022,164		
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	16,620,000	16,760,000	16,500,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	1,310,609,015	1,274,010,898	1,237,332,964			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 令和4年度より現況届の届出義務が廃止されたことから、多くの受給者について現況届の提出が不要となる。それに伴い、現況審査のスケジュールが大幅に変更になることから、事務フロー等の見直しを進める必要がある。							
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 現況審査の事務フロー等の見直しにより、現況処理の最適化を進める。							